

公益社団法人 日本地下水学会
2025 年度 第 6 回 理事会議事録

1. 開催日時：2025年11月1日(土)14:15-17:00

2. 開催場所：新富区民館 4 号室、Web 会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：13人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	○*	理事	久保田 富次郎	×
理事	阪田 義隆	○*	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	×
理事	竹内 真司	○*	理事	辻村 真貴	○*
理事	中川 啓	○	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	○*
理事	山中 勝	○*	理事	吉岡 真弓	○
理事	吉田 広人	○*			

*Web にて出席

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	五藤 幸晴	○
----	-------	---	----	-------	---

*Web にて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、14 時 15 分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・2025年10月8日(水) 日本学術会議 地球惑星科学委員会・地球惑星科学次世代育成成分科会（第26期・第7回） 全国地球惑星系専攻長・学科長合同懇談会 出席
- ・2025年10月22日(水) 地球惑星科学委員会IUGG分科会IAHS小委員会（第26期・第1回） 出席

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

10. 理事会資料

- ・資料 1 : 2025 年度第 6 回理事会議事次第
- ・資料 2 : 2025 年度第 5 回理事会議事録
- ・資料 a (8 種) : 審議資料
- ・資料 b (8 種) : 協議資料
- ・資料 c (17 種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：会費未納会員の会員資格喪失処分（会計委員会：資料 a 審議_11(会)-1）

- ・会費未納会員への督促連絡が届いていない可能性があるため、今回理事会での処分は保留とし、12月の理事会で改めて審議することとした。
- ・将来的な会費未納による会員資格喪失処分者への対応について、内容証明郵便の発送の可否、学会誌への会員資格喪失処分者氏名の掲載なども含めて、総務委員会と会計委員会で検討する。
- ・所属先が現状と異なる候補者について修正する。

第2号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1a, 1b, 1c）

- ・正会員 5 名、準会員 3 名について、入会を承認した。
- ・今後、新システム（SMOOSY）による出力形式で入会の承認を審議することを確認した。
- ・氏名へのふりがなの追記について検討する（事務局）。

第3号議案：宮古総合実業高等学校への寄附（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-2）

- ・秋季講演会において特別講演を行っていただいた沖縄県立宮古総合実業高等学校（環境班）へ、講演数 2 件分の謝金相当である 60,000 円を総務委員会から寄附することが承認された。
- ・具体的な寄附の方法については、理事会承認後に事務局から先方に連絡し、対応を進める。

第4号議案：企業冠賞規程の新規制定および表彰規程の改定

（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-3a, 3b, 3c）

- ・企業冠賞の新設に伴い、新規の企業冠賞規程案および現行の表彰規程改定案について、本理事会にて一部の記述を修正したもので承認された。
- ・2026 年度若手地下水研究助成の公募文（YEPS、協議事項②）の中に、同助成の奨励賞受賞者が学部および大学院博士前期課程（修士課程）の正会員または準会員の場合には、企業冠賞の対象となる旨の案内を追記することとした（YEPS）。
- ・企業冠賞規程の施行日および表彰規程の改定日は、来年度の受賞案件を対象とすることから、2026 年 4 月 1 日とする。

【協議事項】

①SNS アカウントについて（広報・IT 委員会：資料 b 協議_09(広)）

- ・当学会公式のInstagramのアカウントを新規に作成することが承認された。
- ・各委員会からの投稿を上記学会公式アカウントに集約する。これにより、投稿数の確保や広報・IT委員会の負担軽減を図る。
- ・委員会からの投稿に対する責任は、当該委員の所属する委員長とする予定。
- ・今後、SNSに関するルール作成を進め、ルールの確定後にInstagramの活用を開始する。同ルールには、炎上時の対処方法なども盛り込むようにする。
- ・学会公式アカウントの管理責任者は広報・IT委員長とする。

②2026 年度若手地下水研究助成の公募について（YEPS 委員会：資料 b 協議_10(YE)）

- ・2026年度若手地下水研究助成の公募の会告（案）について承認された。
- ・公募文中に企業冠賞の件を記す（前述、第4号議案を参照）。
- ・2026年2月～3月を申込期間とする予定。

③上期監査および 2026 年度予算案について（会計委員会：資料 b 協議_11(会)-1）

- ・会計委員長から各理事に、10万円以上の支出の場合には見積書を提出すること（上期監査指摘事項）が周知された。
- ・上期監査において上期末時点での予算消化率が高くなっていたが、秋季講演会や講習会の参加費等を計上した結果（上期監査時は預り金）、10月23日時点の収支は昨年度同時期とほぼ同等であることが報告された。
- ・2026年度第1次予算案作成が各理事に依頼された。会計委員長への提出〆切日は、2025年12月5日（金）とする。
- ・監事より、2025年10月8日に実施された2025年度上期監査の報告が行われた。

④外部監事について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-1a, 1b)

- ・ 総務委員会において当学会の外部監事候補者として適任と判断された会員2名に対し、第一候補者から順に、総務委員長から外部監事の依頼の連絡を行うことが了承された。

⑤地球・資源分野 JABEE 委員会 2026 年度, 2027 年度 運営委員・監事候補者推薦について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-2)

- ・ 審査経験のある人として、杉田会長（継続）および前川事務局長の2名を運営委員候補として当学会から推薦することとした（別紙推薦書にて2026年1月13日（火）まで）。

⑥IAH2029 の日本誘致について（総務委員会：資料なし）

- ・ 理事会開催前にIAH-Japan谷口会長からIAH2029の日本誘致について説明いただいた。同説明を踏まえて、IAH-JapanのIAH2029の日本誘致決定について議論を行った。
- ・ 賛否両論の多くの意見が理事から出された。開催する場合には、当学会としては最大限に恩恵（次世代育成、国内/国外学協会や団体との連携強化など）を享受する方針。
- ・ 今後は、IAH-Japanからの情報を確認しながら対応していくこととした。

⑦休会制度について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-3)

- ・ 学会員の産休・育休に伴う一時的な休会制度の必要性について、総務委員会での意見を基に議論を行った。
- ・ 理事会での意見を踏まえて、総務委員会にて継続して可否を含めて検討することとした。

⑧名誉会員・永年会員功労賞候補の推薦について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-4)

- ・ 規程に基づき2026年度の名誉会員3名、永年会員功労賞4名の推薦者リストが提出された。
- ・ 名誉会員の推薦者のうち1名について、2025年度末での退会の届出が提出されていたため、会員継続の意思の有無について当人に確認することとした。
- ・ 今後、推薦されたリストに基づき表彰委員会で候補者を決定する。

【報告事項】

特別に報告する事項のみ理事から口頭にて報告した（会場の使用時間の都合）。その他の報告内容については、事前提出された資料を確認してもらうこととした。以下、各理事による主な報告事項。

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・ 配布資料のみ（理事欠席）。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・ 配布資料のみ（理事欠席）。

渉外委員会：（資料なし）

- ・ 12月3日(水)、10日(水)に地下水初心者向け啓発講座「地下水のきほん」を開催する予定との報告があった。

編集委員会：（資料c報告_06(編)-1, 2, 3)

- ・ Clarivate 社の Web of Science への登録申請を行ってきたが、2025年8月14日に同社から不採択との回答を受けた。指摘事項への対応が困難であることから、委員会として今後の登録対応の継続を断念するとの報告があった。

調査・研究委員会：（資料c報告_07(調)）

- ・ 秋季講演会の特別セッション（能登半島地震）の予稿集原稿をWGの成果として、地下水学会ホームページ上に掲載したい要望があった。講演会予稿集は原則非公開であるが、著作権は執筆者に帰属しているため、著者の了承が取れば良いとした。

市民コミュニケーション委員会：（資料c報告_08(市)）

- ・ 10月25日(土)に東久留米市で湧水巡りを開催した。申込者数は21名、当日参加人数は16名。

広報・IT委員会：（資料c報告_09(広)）

- ・ 配布資料のみ（理事途中退席）。

YEPS委員会：（資料なし）

- ・ 速報として、若手セミナー開催報告がされた（参加者人数53名）。また、同セミナーの開催に合わせて若手懇親会を開催したことが報告された。正式な報告は次回理事会の予定。

会計委員会：（資料c報告_11(会)-1, 2)

- ・ 10月現在までの収入・支出状況が報告された。今年度については、収入、支出ともに昨年度よりも多くなっているが、収支は昨年度と同程度で推移していることが報告された。

表彰委員会：（資料c報告_12(表)-1, 2, 3)

- ・ 今年度の表彰は、名誉会員と永年会員功労賞であることが再度報告された。
- ・ 秋季講演会の表彰式のPTT 資料が理事会資料として共有された。

総務委員会：（資料c報告_13(総)-1, 2, 3, 4)

- ・ 秋季講演会での宮古総合実業高等学校による記念講演の実施報告書が記録用として提出され、資料に基づき当日の写真、紹介PPT、報道資料等についての説明があった。
- ・ 後援共催等の対応状況が報告された。
- ・ 監査報告書の報告が行われた（前述、協議事項③を参照）。
- ・ SMOOSYによるオンライン入会システムの導入状況（試行運用）を報告した。今後、正式運用していくことが報告された。
- ・ 会議費の領収書精算台紙等には目的、人数、場所のメモを記入することが、総務委員長から各理事に対して依頼された。

無任所：（資料なし）

- ・ なし

事務局：（資料なし）

- ・ なし

監事：

- ・ 各議事において適宜ご発言頂いた。

以上をもって議事を終了したので、議長は 17 時 00 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2025 年 11 月 13 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会